

城西支部報

Jousai Local Branch Report

December
2007
Vol.248

■第248号 平成19年12月発行 ■発行所/東京都印刷工業組合 城西支部 ■事務所/杉並区高円寺南1-2-3 弘志堂ビル2Fドゥ・グラフィス(有)内 TEL.03-5377-0738

■発行人/草間 宏 ■編集/広報部



支部長ご挨拶「ご報告」

ドゥ・グラフィス有限会社 草間 宏

平成18年に支部長に就任し、「本部へ行って来い」から組合の事を随分と勉強させていただきました。組合とは英語で「Association Pattner Union」とかなり高貴なイメージも湧いてくる今日この頃であります。

今はまだ城西組合の土壌を如何に良い土にしていくかが課題であります。今まで以上に城西という土からいろいろな物が咲かせられたらという思いです。ですから何度でもと良い土作りを土台作りをコツコツと始めたばかりですし、2007年はまだ土の状態を調べたり見たりで支部の皆様には未だ歯がゆいばりの想いと存じ上げます。

業態変革という花もなかなかうまく咲いてくれるもでもないし、その上支部員増強等々いろいろな花を盛り沢山に咲かせなくてはいけないのでしょうか、それにはやはり良い土壌を作れば可能なのではと「夢」に終わらない様城西支部の皆さん協力してください。そこでこんな詩を引用致します。

「夢」

夢のある者は希望がある 希望のある者は目標がある
 目標のある者は計画がある 計画のある者は行動がある
 行動のある者は実績がある 実績のある者は反省がある
 反省のある者は進歩がある 進歩のある者には夢がある

そこに集う人達が心から組合活動に賛同して貰えるのだろうか試行錯誤の繰り返しがこれからも待ち受けていると思います。

業態変革は常に歴史の中で実際に起きている事です。活版からオフセットまたデジタルへ常に流動化しております。全印工連東京都印刷工業組合では今組合員ができる事として、
 第1ステージ/業態変革ミニマム(最小限の機能の確認と実践)
 第2ステージ/原点回帰(足元の収益性・生産性の向上)
 第3ステージ/新創業・ワンストップサービス

業態変革推進プランは各支部各組合員で温度差があります。「変革」必要性は皆さん感じていると思います。啓蒙という意味では成果があるのですが、実際取り組むとなると難しい。組合員として共通課題が見だし難い。

業界もいろいろな形で進歩し変わって行くと思います。各自



支部長 in 北海道

が50年先を見据えて個々の個性を發揮しながら、しっかりとした経営、変化に臆することなく果敢に挑戦していけるよう支部役員や本部が支援できるよう願いたい。

組合は1人でできないことを皆で取り組むことに意義があります。このパワーはとても大きい。組合の印刷人仲間は現在22支部約1,700社35,000人が在籍しています。印刷に携わる人の頼もしい仲間です。

参加する価値のある組合づくり、業態変革推進でやる気で業界活性化、城西支部では、まずは親睦(遊び仲間)からはじめています。組合活動はとましますと、

- 用紙・材料の価格問題
- 廃紙・インキ等の環境問題
- 設備・自動車・火災・医療・生命の共済保険
- 国家資格取得支援、インターネット講座
- 後継者育成(印刷青年会)
- 各種講演会
- 勉強会・見学会

組合とは英語で「Association Pattner Union」。意味は利害や目的が同じ。

- ◆本部
<http://www.tokyo-printing.or.jp/>
- ◆城西支部
<http://www.niitsu-pri.com/tpia/>
- ◆メーリングリスト登録
jjosai-seinen@yahoogroups.jp
管理者・山浦 賢一(kyamaura@dd.iij4u.or.jp)



平成19年9月14日(金)代々木“明治神宮”において、「第41回敬老の集い」が、満77歳以上の長寿者をお迎えして開催されました。今年の長寿対象者265名の内、83名の方が元気に出席されました。



午前10時より「参集殿」前で受付を開始、10時30分より長寿者及び来賓、本部役員、理事・委員等は「神楽殿」へ移動、参拝・修祓・祝詞奏上・神楽奉奏・鈴振りの儀・玉串奉奠・神酒拝戴等の儀式の後、長寿者全員の記念撮影(撮影の時は秋晴れに…)を行いました。

祝賀会は参集殿に戻り、根本純夫(事業・共済委員会副委員長)の司会で開催されました。初めに浅野理事長より「組合創立58年目の敬老の集いとなりますが、その間に大きな環境変化があり、業界団体として機能を発揮してきました。年賀はがき等のようにアマチュアの方が印刷に親しまれる例はありますが、印刷の価値は低くなっていないと思っています。全印工連では新創業として、先輩方のご苦勞を乗り越えてこられた思いを形に纏めています。変化があるからこそ発展があるのです。貴重な先輩方の経験を是非伝えて頂き、変化に対応するために、予測と仮説を立て、再検討を続けなければならないと思います。理事長としての任期来年5月となります。任期を最後まで全うさせて頂きたいと存じております」との挨拶が述べられました。

続いて、全国印刷工業健康保険組合連合会・倉澤直則理事長、東京都印刷工業厚生年金基金・盛庄吉理事長、東京都製本工業組合・星野一男理事長、東京都印刷産業政治連盟・

藤井壽副会長、田島一彌相談役、小林忍参与の紹介がなされ、盛理事長よりご祝辞を頂戴した。

長寿者代表の水越繁雄(三多摩支部・(有)ミズコシ)様より挨拶があり、そして利根川政明副理事長の乾杯で開演となった。今年の余興は、女流講釈師・神田きりり氏の講談、さらに杉内庄吉氏(城南支部・京浜印刷(株))の作品、市川知隆氏(新宿支部・(有)市川印刷)の歌謡、平林智司氏(日本橋支部・宮嶋印刷(株))の浪曲で開場を盛り上げました。

最後に松岡委員長の閉会挨拶で祝賀会を終了しました。

なお、城西支部では9名の方に招待状をお送りいたしました。池谷正緒様、中村勝利様、新津隆二様の3名と支部長代理として石澤一美総務部長が出席されました。

城西支部長寿者ご芳名・9名

斉藤 信一	90歳	(有)豊印社
中澤 貞雄	90歳	中澤印刷(株)
池谷 正緒	89歳	アイビ印刷
都 築 仁	84歳	ツツキ印刷
吉永 栄二	84歳	(株)トーヨー・プリント社
中村 勝利	83歳	シンソー印刷(株)
新津 隆二	81歳	新津印刷(株)
清水 美登里	78歳	幸陽印刷(株)
西山 秀夫	77歳	(株)三友印刷

クリエイティブから印刷まで、次の時代を見すえた ネットワークパワーで
多様化するニーズにお応えしていきます。

ミナト印刷紙工株式会社

〒162-0812 東京都新宿区西五軒町3番11号 Tel:03-3260-2236 Fax:03-3260-2230

OLIVER496SD 菊全判4色印刷機

大型多色SDシリーズ
第一弾

オールインワン
最新自動化設備 完全装備

最高の製品をお届けすることで、お客様の満足をお約束します

Sekitani

株式会社 藤井グラフィックシステムズ
TEL:03(3643)1131 FAX:03(3643)1138

東京営業所 〒461-0204 名古屋市南区上飯田町2-9 TEL:052(52)324-6561(代) FAX:052(52)324-6565

大阪営業所 〒532-0012 大阪市淀川区木津3-1-31 TEL:06(6)6308-6651(代) FAX:06(6)6308-6679

九州営業所 〒910-0001 福岡市中央区天神5-6-8 TEL:092(7)741-2670(代) FAX:092(7)741-2670

総社工場 〒501-3723 岐阜県美濃市3951 TEL:0575(3)33-1260(代) FAX:0575(3)33-3146

去る9月19日(水)午後3時から日本印刷会館にて第3回経営革新委員会及び第3回マーケティング(営業)委員会が合同で開催されました。そのときの報告を簡単に紹介いたします。グラムコ(株)の山田社長が講師を務められました。



1.そもそもブランドとは何か?

ブランドとは、「好まれ選ばれる」、「値崩れしない」、「確固たる良い評判をもたらす」といったことで定義づけられる。またこれによる長期的な取引によって利益を生むことができる。ブランドはCIと異なり事業戦略と直結し、商いに繋げていく考え方が重要である。ブランドは企業経営にとって欠くことのできない重要な経営資源である。ブランド戦略とは、他と峻別できる自社の強みを見つけ出し、経営戦略として積極的にブランド構築に取り組み、ブランド力を高めること、即ち企業価値を高める戦略である。米国に始まり、欧州、中国でも積極的に取り組みがなされ世界的な潮流となっている。

2.企業がブランド戦略に注力している理由は?

企業側には①技術レベルが進み他社との差別化が図れず、付加価値が生み出しにくい、②顧客・ステークホルダーの好感を得て主体的に選別されなくてはならない等事情がある。

一方、ステークホルダー側には、①間違いのないものを選びたい、②共感できるものを選びたい、③自分のライフスタイルに合ったものを選択することで心を満たしたい等の事情がある。両者のブランドに関する思いが繋がったことで、今日のブランド戦略の時代が到来した。

3.ブランドと価格維持

公正取引委員会の「ブランド力と競争政策に関する実態調査」によると、10%の価格差で他社へ乗り換ええない割合は、食料品、日用雑貨では50%、耐久消費財、時計・宝飾品、靴・バックなどのブランド力の強いものでは約80%となり、購入する上でブランドが大きな判断材料になっている。

4.なぜブランド戦略に取り組むのか?

取り組みの目的としては、①消費者の反復継続購入、②社会的信用の獲得、③他社との差別化による高収益、④既存ブランド活用により事業拡張が容易、⑤取引条件交渉での自主主導などがある。

5.ブランドの5つの定義

- ①ステークホルダー(顧客、取引先、株主投資家、社員、消費者、社会)の記憶の中に蓄積される、プラスになる良い体験、良い印象の総体。
- ②企業からステークホルダーへの約束と実行であり、その結果生まれるステークホルダーから企業への期待と共感。
- ③良い記憶の蓄積や、期待共感を表すシンボルであり、ステークホルダーが選択する際のよりよい目印となっている。
- ④企業構成員、関係者にとってのプライドの源泉。社員が誇りをもてないような会社はブランド構築ができない。
- ⑤利益を生み出す無形資産であり知的財産。
 - (1) 高く売れる…プレミアム価格(価格の利益)
 - (2) 多く売れる…優先的選択(量の利益)
 - (3) 長く売れる…ごひいき筋(期間の利益)

6.ブランドは企業とステークホルダーを結ぶ深い絆

ブランドは外へ向けての発信は当然であるが、発信源となる社員を啓発するプログラムを組んで教育し、経営トップ層からマネジメント層、一般社員、パート、アルバイトまでブランドコンセプトを共有していくことが重要である。

7.ブランド企業の条件

著名なブランド企業100社を調べてみると、卓抜性(匠の気質)、広知性(顧客の評判)、獨創性(革新発想)、伝説性(ちょっとした話)を持っている。

そのほかブランド構築事例、ブランド構築手法、などの盛りだくさんの説明がありました。ここでは紙面の都合で割愛させていただきたいとおもいます。

もし、ご興味ある方は東京都印刷工業組合よりこの勉強会の報告書をいただいているので、申し出てください。お送りいたします。

グラムコ株式会社

<http://www.gramco.co.jp/>

講師略歴

山田 敦郎(やまだ あつろう)
1953年兵庫県神戸市生まれ。
1976年慶應義塾大学法学部法律学科卒。
日本楽器(現ヤマハ)嘱託としてデザインを学び、大学在学中に企業イメージをデザインする組織を立ち上げる。
1976年総合商社の丸紅に入社。
欧・北アでの海外研修、海外駐在を経験。

1987年同社を退社後、CIとブランディングを手がけるグラムコ株式会社を設立。
現在まで同社代表取締役。現在日本CI会議体幹事。日本グラフィックデザイナー協会正会員。
著書に『マーク(ブランドの向こうに見えるもの)』(読売新聞社)、『ブランド力』(中央公論新社)、『パワーブランドカンパニー』(東洋経済新報社)等がある。

紙

素顔がいいから、
印刷が活きます。

株式会社
大橋洋紙店

〒112-0014 東京都文京区関口1丁目28番6号

TEL (03)3203-7731(代表) FAX (03)3203-8062



ハイデルベルグ機が日本に上陸して80年

おかげさまで
80周年
お客様の成功とともに!

豊富な自動化機能を装備して
ビジネスを成功に導く
Printmaster PM 74

ハイデルベルグ・ジャパン株式会社

〒140-8541 東京都品川区東品川3-31-8 TEL(03)5715-7377
www.jp.heidelberg.com/

HEIDELBERG

今回の旅行は、参加会社13社・20名の参加者で行ってきました。この日は朝から降りしきる中(台風による雨)、皆さんが時間通りに来てくれるかな?という思いでしたが、皆さんが時間通りに集まって頂いたことに心から感謝いたします。



一日中雨のバス旅行となりました。朝7時半に高田馬場駅を出発。一路袋田の滝へ向かいました。バスの中では、参加会社の自己PRをしたり、支部長の城西支部への熱い思いと熱い志の話をしていただきました。また、組合員増強運動への強力を願われました。

バスは袋田の滝に到着。滝への道を歩き、トンネルをくぐり抜けると、ゴーゴーと、ものすごい滝の音が聞こえてきて、目の前に白いカーテンのような光景と水しぶきが舞い込み、ここに何回も来ている人でもこれほどのスゴい滝は初めてだと絶賛するほどすばらしい滝でした。

次に袋田温泉に行き、食事をして温泉に入りました。温泉ではみんなで語り合い楽しいコミュニケーションの時間でした。この後、那珂湊で買い物し、回転寿司でお腹を満たしました。

今回の旅行は天気が悪かったが、この天気だから滝の水量がいつもより数倍も多い迫力で見ることができました。無事にスケジュール通りの段取りでした。皆様お疲れさまでした。



「ごめんなさい、手ぶれしちゃいました…」
「そっちのほうがイイのよ!(笑)」とのこと



いつも通り(!?)のバス内



【新・城西トリオ】の小泉Jr.&都築さん&小泉さん



ようこそ袋田の滝へ



那珂湊の市場



袋田温泉



これぞまさに“瀑布”!!



新鮮な海産物がズラリ!



那珂湊の市場の隣の回転寿司にて



“ぴったりソリューション”を提案

時代にぴったり、
環境にぴったり、
未来にぴったり、
これまでも、そしてこれからも…

DMCダイヤミック株式会社 TEL: 03-3216-7514 FAX: 03-3216-7515
http://www.dmc.co.jp

Spik Vanstar

スピックバンスター株式会社

〒112-0014 東京都文京区関口1丁目47番12号

洋紙事業部 印刷事業部

TEL: 03-3268-8171(代) TEL: 03-3260-8151(代)

FAX: 03-3268-8195 FAX: 03-5228-3097

heart 人から人へ心を伝える ハート紙製品

名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー・環境対応製品

企画・デザインから印刷・納品までトータルにサポート。
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております。

ハート株式会社

URL: www.heart-group.co.jp

新宿支店 〒162-0812 東京都新宿区西五軒町6-12
TEL 03-3267-2711 FAX 03-3267-2835
e-mail: shinjuku_branch@heart-group.co.jp

杉並支店 〒166-0016 東京都杉並区成田西2-11-17
TEL 03-3220-2311 FAX 03-3220-3711
e-mail: suginami_branch@heart-group.co.jp

板橋支店 〒174-0071 東京都板橋区常盤台2-2-5
TEL 03-5915-2131 FAX 03-5915-2136
e-mail: itabashi_branch@heart-group.co.jp

東青協Bブロック合同納涼会報告 青年部長・都築

城西支部青年会の活動を日ごろ御協力いただいている青年部の皆さんと、東青協Bブロック合同納涼会に出席してきました。

東青協Bブロックとは、東京の青年会をA～Dの4ブロックに分けて、新宿・城西・山之手・杉並・三多摩の5支部の青年会をBブロックとして構成されています。日頃、各青年会で活動していますが近隣支部青年会との親睦を兼ねてBブロックの青年会の皆さんと、青年部の枠を超えて交流を目的として「一緒に何かをやろうと!」の始めの一歩として、Bブロック合同納涼会を開催いたしました。

当日は、8月10日の金曜日に新宿支部青年会が幹事をして頂き、新宿「八吉 二の丸」で開催されました、5支部青年会の皆さん27人位参加され盛大に納涼会が開かれました。

乾杯の発声を、城西支部青年会の青年部顧問の石澤さんの発声で始まり、出席者の皆さんとビールを飲みながらの話も盛り上がりました。なかなか近隣支部の青年会の皆さんとの交流が少なく、他の青年会の皆さんは支部や青年会に対して、どのような考えや活動をしているかの意見も聞ける良い機会でした。

今後とも、各青年会で協力をして勉強会や活動を共有していければ青年会の活動も活性化していくのではないかと言う実感を感じました。



日比美術印刷・日比

中野北・南地区 地区会

10月18日(木)、7時より中野駅北口「食酒屋」にて6名で行いました。

草間支部長より本部報告・支部報告後、次期支部長選考を行い、全員一致、即決で現草間支部長に再任していただくことに決定いたしました。堅苦しい話は、ここまでで、仕事上(再生紙・印刷機・顧客・IGAS等)の話、家族の話、10月20日のバス旅行の話等、いろいろな話題で盛り上がり、和気あいあいとした会合になりました。

今回の地区会は、12月に忘年会を兼ね、合同地区会を開きたいとの要望がありました。



- 出席者
- ・日比美術印刷 日比
 - ・都築印刷 都築
 - ・石澤印刷 石澤
 - ・三友印刷 西山
 - ・宝堂印刷 萩原
 - ・ドウ・グラフィス 草間
- 以上6名

新宿地区 地区会

岩永印刷・岩永

新宿地区は10社で構成されています。今年度の地区会は、1回目(5月)参加者少数のため散会、2回目(10月15日)10社中5社。3回目は12月7日を予定しています。

参加者はほぼ固定しており、その方々とは深い関係が築かれています。これから新宿地区会をどうしていきたいか…。

- ①地区会を多く開いてほしい。
- ②参加できていない方との交流。
- ③情報の共有。

地区会の活動を充実して行けるようにコミュニケーションを図っていきたく思います。



- 出席者
- ・信英堂 桜井
 - ・勝山印刷 勝元
 - ・小泉印刷 小泉
 - ・岩永印刷 岩永
 - ・日進印刷 岡崎
- 以上5名

早稲田・落合地区 地区会

トッププリント建隆・酒井

10月19日午後7時から「呑喰処・花」で開催されました。

当日は草間支部長にも出席いただきましたが、生憎、新津副支部長は急な出張の為欠席。後藤副支部長代行の司会進行で、定刻より支部長挨拶、本部支部報告があり、次期支部長及び役員推薦の為の選考委員に藤井康正氏・山浦孝弑氏・木村謙氏の3氏に依頼し決定しました。

新津顧問相談役の御発声で乾杯。懇親会、情報交換も活発で10時半頃お開きとなりました。いささか酩酊気味であります。



- 出席者
- ・本美印刷 本田
 - ・山浦印刷 山浦(宏)、山浦(賢)
 - ・ポプラ印刷 後藤
 - ・藤井活版 藤井
 - ・トッププリント建隆 酒井
 - ・グリーンアーム 米澤
 - ・新津印刷 新津(隆)
 - ・シンソー印刷 木村
 - ・ゲスト 草間支部長
- 以上10名

DMから各種帳票、ラベル・シールまで
高品質な製品をスピーディーに
お届けします。

北越パッケージ株式会社
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-15-9 古河千代田ビル7F
TEL:03-3252-6308 FAX:03-3252-6418
ホームページ: <http://www.hokuetsu-package.co.jp>

FSC 森林認証
名刺・はがき・封筒

「FSCマーク」は適切な森林管理のもとに生まれた木材が、正しく加工・流通されていることを証明するマークです。認証なしには刷り込みできません。「FSCマーク」印刷済の当製品をご利用下さい。

山櫻は、FSC 森林認証紙製品における売上金額の1%をWWF(世界自然保護基金)に寄付いたします

株式会社 山櫻 〒164-0011 東京都中野区中央 3-32-2
中野支店 TEL:03-3382-1701 FAX:03-3380-3187

いつもお客様の目線で
ITを考えています。

株式会社 大塚商会
杉並支店

〒166-0003 杉並区高円寺南4-5-5
河村ビル2階
TEL:03-3315-0211 FAX:03-3318-3081
URL <http://www.otsuka-shokai.co.jp>

この頃JDFって文字が目付き「見てくるか」程のノリでIGASへ...

★JDFってなに?

業務定義フォーマット(JDF)はグラフィックアーツ業界とその関連分野において、プロセスオートメーション及び異なるアプリケーションやシステムの融合を促進する為にデザインされた業界仕様です。JDFはまた、生産ワークフローへのビジネス・マネージメントと業務プランニング・アプリケーションとの融合を可能にします。

凄そうだけど解らない?で、ちょっと調べたら「なんじゃ!これ?」。20年程前DTPって「なんじゃ!これ?」だった。今DTPを活用できない印刷屋は在り得ない。7ページ程の基本説明があります、一読を。

http://www.cip4.jp/introduction/basic_jdf_tutorial.html→次ページ参照

JDFが進化普及したら作業の流れを地球的範囲へ広め、城西支部の印刷工場も空洞化するか又、世界中から仕事が集まるか? 資料無断添付(下記)

他の資料/ http://www.jagat.or.jp/story_memo_view.asp?StoryID=11119→①参照 (JAGAT社団法人日本印刷技術協会より)

より多くの情報は、http://www.cip4.jp/→②参照

目が辛くなってきたので、気になる機材をIGASで現物と対面しながら説明を聞く。安い!(定価714万)新しいスタイルの菊半対応CTP機、岩崎通信のインクジェットCTP JP-1Rそこそこ使えそう、風評は「もう少し」だそうです。他社でも開発が進んでいる情報はあります。(詳しくは、http://www.iwatsu.co.jp/→③参照)

今回は2ページ使います!



※WEBサイトのトップページのみ

①MIS/JDFと検査装置の動向

Screenshot of JAGAT website showing MIS/JDF and inspection equipment trends.

②CIP4 Japan 情報サイト

Screenshot of CIP4 Japan information site with navigation and news sections.

③IWATSU

Screenshot of Iwatsu website showing product information and news.

Advertisement for Design Combi featuring a woman in a kimono and contact information.

Advertisement for IEDA (家田洋紙店) with logo and contact details.

Advertisement for AME (日本エーエム株式会社) for printing services.



“続” IGAS 2007 ～野次馬的見学～

※以下はWEBページの書き出しの引用です。興味を持たれた方は「CIP4 Japan 情報サイト」→「JDF基本解説」を訪れてみてください。



「JDF基本解説」

はじめに

JDFはXML(Extensible Markup Language)をベースとしていますが、全てというわけではありません。XMLは、既に広く認識された言語であり標準となっていることから、JDFの基本標準言語に選ばれました。Java、C+、.NETといったプログラミング言語のAPI(Application Programming Interfaces)は直接XMLをサポートしています。また、市場に出回っているXMLツール、データベース等は数多く存在します。例えば、XMLはバックオフィスシステムとウェブサーバ間のコンテンツ伝達に関するすま市場を開拓し、幅広く使用されています。

XMLは構文データおよびデフォルトデータの種類のルールを提供します。しかし、XMLだけでは十分ではありません。XMLでは、XMLの「インスタンス」をチェックまたは「検証」するための文書タイプ定義およびスキーマの定義は必要ありません。検証は多くのアプリケーションで必須であり、特にデータがデータベース(ワークフローおよびMISシステムのバックにあるデータベース)にインポートされる場合は重要となります。JDFはワールドワイドウェブコンソーシアム(W3C)のXMLスキーマ勧告をベースとしています。スキーマを使うとJDFは検証が可能となり(メタデータのプリフライトのようなもの)、CIP4はユーザ定義データタイプ(例えば変換で使用される「長方形」、「マトリクス」あるいは「色の名前」など)を作成することができます。

JDF仕様書は、ファイル命名(例えばホットフォルダ交換時のURL/URI使用)の仕様やJDFおよびコンテンツツァイルのMIME

マルチパートメッセージでのパッキング方法を規定します。両者ともHTTP(Hypertext Transmission Protocol)を使い、TCP/IPネットワークを想定しています。ネットワークプロトコルおよび交換方法の選択は、工程自動化プログラムだけでなく、JDFのXML構成要素にとっても重要となります。

JDF仕様書はJDFスキーマとともに無料で公開されており、www.cip4.orgから入手できます。公開スキーマは、CIP4の柔軟な環境の要求事項すべてに対応しています。実際には、ワークフローに対応した構成要素だけを使用してスキーマのグループを作るほうが便利かもしれません。この点については以下で詳しく述べます。

JDF仕様書が扱う分野全てを単独で実行するデバイス(プリンタ、プレス機、画像設定機など)はありません。例えば、デジタル印刷業の場合、ハードケース綴じに関するデータのサポートはそれほど重要ではありません。また、RIPがJDFプリフライトをサポートする必要はありません。ステッチャーが画像レンダリングデータを扱うことはおそらくありません。JDF処理を行う必要があるデバイスのグループを特定するため、CIP4会員は、デバイスの各グループの標準を規定する相互運用性適合規格(ICS)文書を作成しました。ICS文書は認証試験の基礎として使用されます。CIP4は最初の認証試験機関としてグラフィックアート財団(GATF)に登録されました。欧州やアジアの他機関も登録申請予定です。認証プログラムが進むにつれ「JDF認証」と記された製品が増え、各ICS文書が適用されます。ICS文書は既に発行され無料で公開されています。ICS文書が製品購入時の指針となることが期待されています。

JDFの3つの主な機能

理論的にJDFは3つの主な機能を備えています。第1の機能は、印刷ジョブのライフサイクルをサポートする共通言語の提供です。これが、JDFが「ジョブチケット」言語と呼ばれる理由です。しかし、機能はそれだけではありません。第2の機能は、製造現場のデバイスに対する指令言語の提供で、ジョブメッセージングフォーマット(JMF)と呼ばれます。JMFは個別の仕様として扱われてきましたが、実際はJDFの一部です。JMFは、制御ワークフローシステムや工程自動化環境にあるMISが、デバイスに対しジョブの開始・終了やキューの再オーダーなどを指示できるようにします。第3の機能は、ワークフロー構築、工場自動化やジョブ製造の指令、制御、設定に関する柔軟な手法の提供です。



KINSEISHA CO.LTD. 株式会社錦精社
印刷機材の総合商社として多彩なバリューを提供します

- PRE-PRESS
お客様のニーズにマッチした最適なシステムを提案します。
- PRESS
国内有力メーカーの代理店として、幅広い製品を取扱っております。
- POST-PRESS
製本工程に必要なすべての機器を揃えています。
- INKDROY PLUS
IR赤外線インキ乾燥装置、インキの乾燥を促進します。
- PRINTING MATERIAL
印刷材料各種取りそろえております。

本社事業部 〒135-0033 東京都江東区深川2-2-12 TEL03(3630)9941
さいたま支店 〒330-0072 埼玉県さいたま市浦和区旗本5-12-16 TEL048(886)8781

オフ
プロセス製版
CTP出力
樹脂製版

(有)友美堂

F T 中野区
A T 弥生町
X E L (三三)八六一
(三三)八四一
(三三)八二一
(三三)七四三
(三三)四三三

●●●インキ・諸資材料●●●

極東インキ株式会社

新宿区山吹町18
電話 (3268)-7358
FAX (3269)-3482

支部員訪問

このコーナーでは、支部員相互のコミュニケーションの一環として、実際に皆さんの会社にお邪魔して色々とお話をお伺いしてみたいと思います。

(有) 集成社

今回は、集成社さんをご訪問させて頂きました。

集成社さんは、昭和32年に現社長の古川忠夫さんの叔父が新宿区喜久井町で創業されました。その後、何度か移転を繰り返しながら現在は、新宿区東五軒町で営業されています。最初はいわゆるタイプ屋からの出発でしたが、その後ダイレクト製版、印刷を主として小ロットのマニュアルや冊子などの頁もの印刷を中心に社業を展開。創立49年を向かえました。

社長の古川さんは昭和13年生まれ。明治大学商学部を卒業後、初めは印刷とは無縁のサラリーマン生活を送っていましたが、昭和48年、叔父の経営する集成社でアルバイトしたことがきっかけとなり、印刷業へ足を踏み入れました。そこで「印刷は面白い」を実感し、ご自身の天職として、以後は順調に今日まで継続されてきました。

集成社さんの設備は、リョービA3オフセット機が2台、断裁機、帳合機、バインダー糊とじ機などで、製本までの一貫生産を得意としています。そして、創業50年をまもなく迎えるにあたり、ひとつのメモリアルとして、古川社長は自社にCTP設備、岩崎通



新規導入のCTPと古川社長

信製エレフアクセス610XEをこの10月に導入されました。

以前は、紙版下をピンク版に焼き付けての印刷でしたが、簡易印刷でも今後の流れはデジタル製版が主流になることを見据え、導入を決意したそうです。



610XEのパンフレット



ホリゾン製断裁機

リョービ製印刷機



「まだまだ勉強することだらけだが、この設備を機転に新たな顧客層の獲得を期待したい。また従来からの顧客へは、デジタルでのピンク版出力による品質でのアドバンテージを実感してもらい、より多くの受注へのお役立ちをしたい。」アナログ出力から、デジタル出力へのシフトへと、古川社長とCTP刷版機との付き合いは始まったばかりであるが、社長曰く、「毎日が新しいことの連続で新鮮、とても楽しい!」とのこと。

古川社長のお話を伺っていて、CTPを単に仕事の道具としてはでなく、デジタルそのものを自身に落とし込み、そして楽しんでいらっしゃる(一石二鳥?)印象を受けました。人生、前向きなのは素晴らしいことです。

広報部

お知らせ 今後の予定など...

- ・12月22日(金) 支部合同忘年会
会場/銀座三笠会館 時間/19:00~(予定)
- ・1月11日(金) 支部新年会
会場/東中野日本閣 時間/18:30~(予定)
- ・2月15日(金) 組合員の集い
会場/目黒雅叙園 時間/18:30~

城西支部ホームページ随時更新中!! ぜひご覧ください!!

訃報

落合地区 中澤印刷株式会社 取締役社長 中澤貞雄様
病氣療養中の処、十月二十一日に九十歳にて逝去されました。
ここに謹んで哀悼の意を表しご通知申し上げます。

株式会社
山口封筒店

中央区八丁堀二一四一六
電話 三五五一一一五
FAX 三五五一一一〇八

封筒のことならぜひ、
お声をおかけください。

江東区平野4-13-14
電話 03-3364-1188
FAX 03-3364-1188
有 限 公 司 近 代 製 本

帳票・伝票のノウハウを
お任せください。

Azura 「アズラ」
現像液を使用しないサーマルCTPプレート
環境にやさしい プレート露光後の自動ガム洗浄で換版性抜群!
印刷機上での処理はありません。

現像管理がいらぬ事で扱いが容易、管理項目も少なくて安定している。非常にコンパクトで設置場所を問わず、都心での導入に最適。スプリマも刷れる素晴らしいプレートです。
山浦印刷株式会社 代表取締役社長 山浦 賢一様

日本アグファ・ゲバルト株式会社 グラフィックシステム事業部
本社 ☎(03)5704-3141 (営業) <http://www.apogee-users.jp> **AGFA**